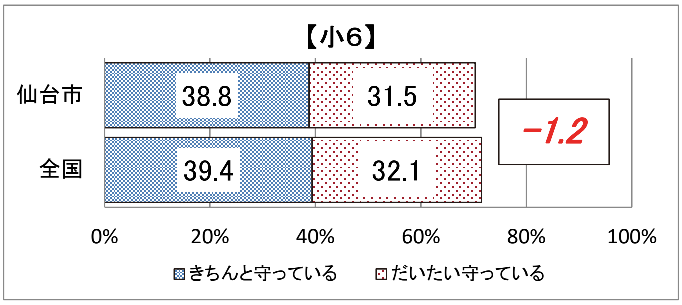
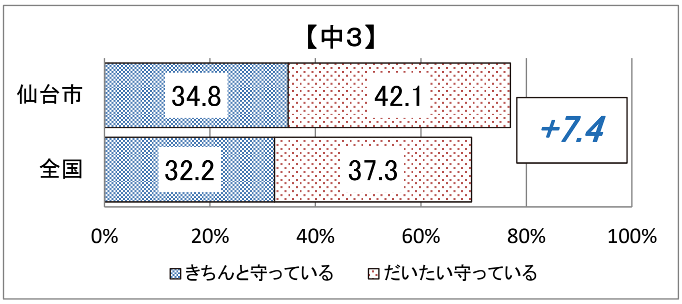
児童生徒質問紙調査の分析結果

【分析結果１】

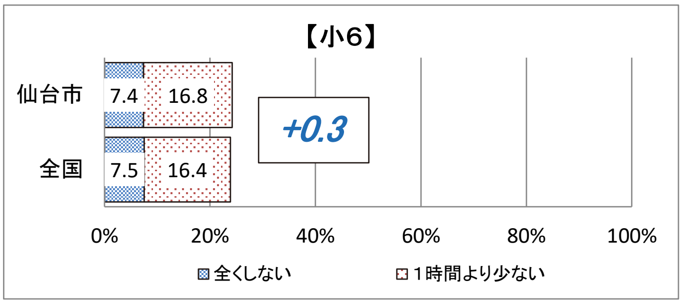
「携帯電話，スマートフォンやコンピュータの使い方について，家の人と約束したことを守っている」と回答した児童生徒の割合は，小学生は全国と同等，中学生は全国をやや上回っている。
「普段，１日どれくらいの時間，テレビゲーム(コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をするか」という質問では，全国と比べ，小学生は同等，中学生は少ない使用時間であった。また，「普段，１日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをするか」という質問では，全国と比べ，小学生，中学生ともに少ない使用時間であった。

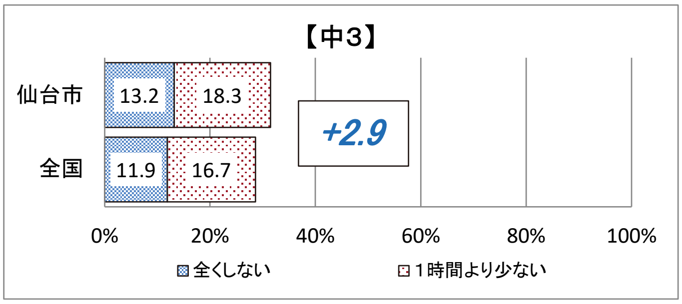
４．携帯電話，スマートフォンやコンピュータの使い方について，家の人と約束したことを守っている



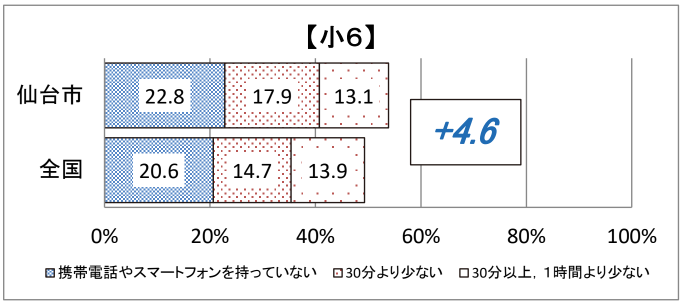


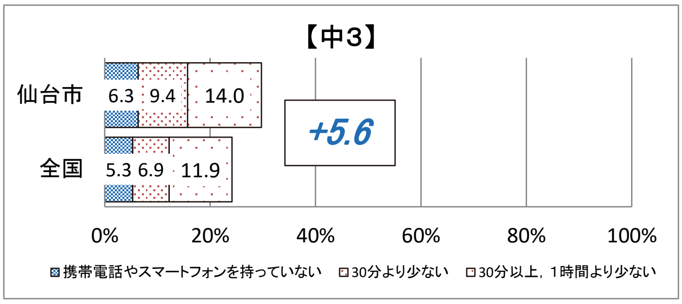
５．普段，１日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム(コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をするか（グラフは１時間より少ない割合で比較）





６．普段，１日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンでＳＮＳや動画視聴などをするか（グラフは１時間より少ない割合で比較）





□今後に向けて

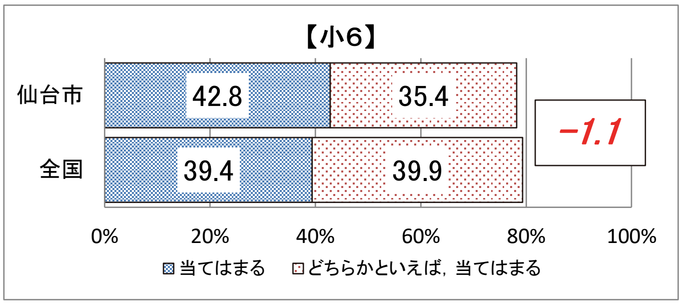
メディアの使い方について，各学校でも継続して指導，啓発に努めてきた結果が表れているものと思われます。今後も，自分自身でコントロールしながら利用できるよう，学校，保護者と連携しながら継続して啓発に取り組んでいきたいと思います。

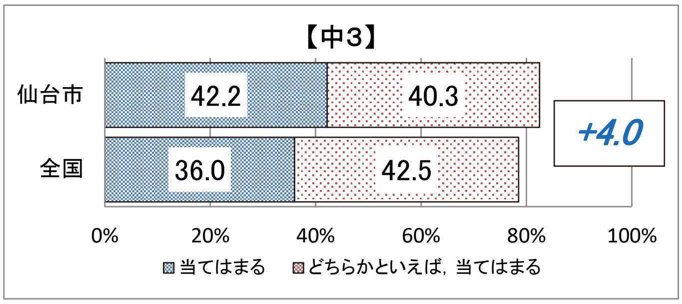
【分析結果２】

自己肯定感に関する項目「自分には，よいところがあると思う」という質問に，肯定的に回答した児童生徒の割合は，小学生は全国と同等であり，中学生は全国を上回っている。

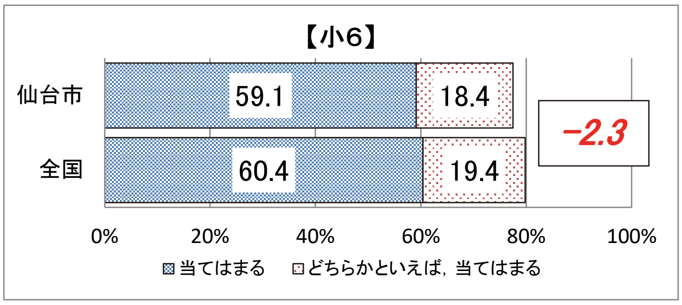
「将来の夢や目標」「物事をやり遂げる態度」「難しいことでも挑戦する態度」に関しての質問には，小学校では全国平均と同等のものと，やや下回るものがあり，中学生では全国平均をやや上回る結果となっている。

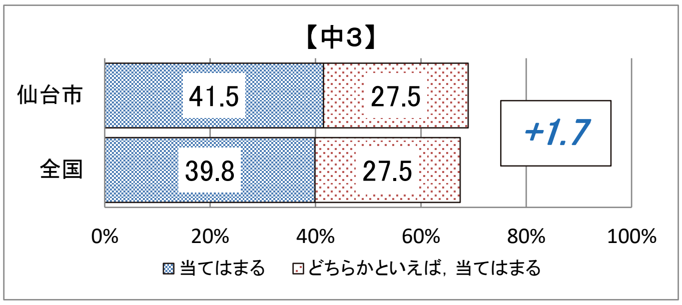
７．自分には，よいところがあると思う



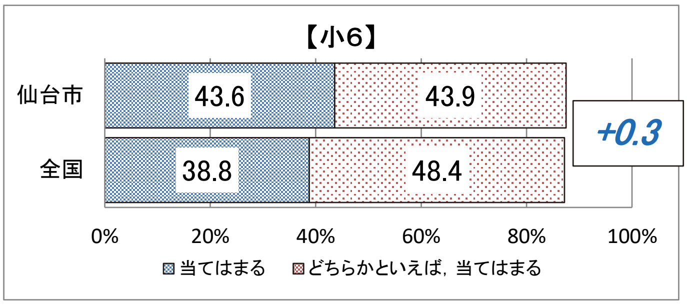


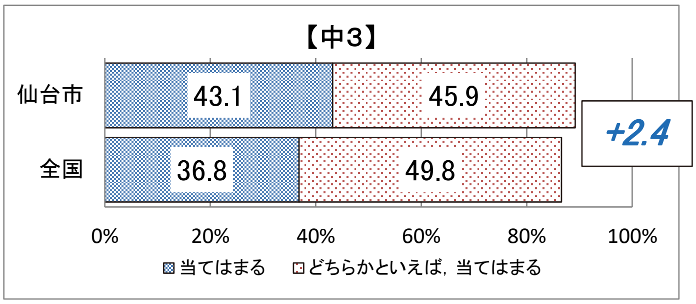
９．将来の夢や目標を持っている



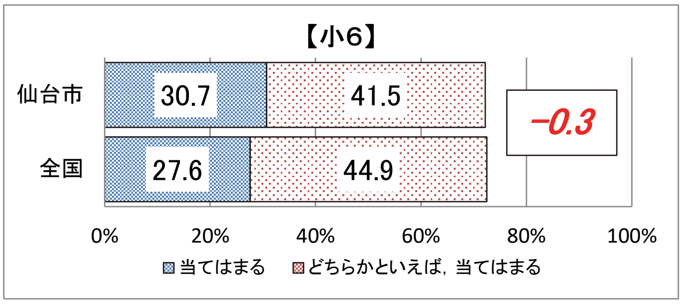


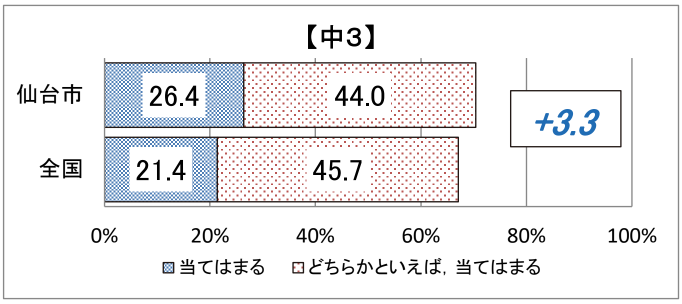
１０．自分でやると決めたことは，やり遂げるようにしている





１１．難しいことでも，失敗を恐れないで挑戦している





□今後に向けて

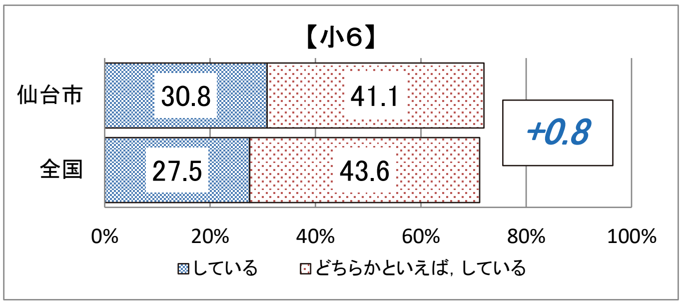
自己肯定感，将来への夢や目標，挑戦心については，継続して注目してほしい項目です。小学校から中学校までの一貫した仙台自分づくり教育における様々な取組の成果があらわれているものと思われます。仙台市生活・学習状況調査と併せた分析を進め，各校で，自己肯定感や将来への展望，挑戦心をより高めていくための指導工夫をお願いします。教育活動の中で，「たくましく生きる力」の５つの力を育むことを意識することで，将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育むことにつながります。

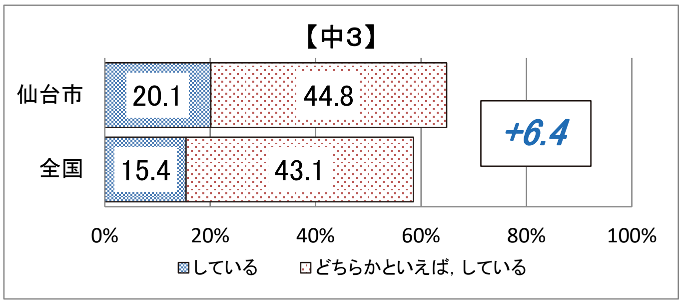
【分析結果３】

「家で，自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童生徒は，小学生は全国と同等，中学生は全国を上回っている。家庭学習への取組時間は，小学生は全国よりやや下回っているものの，中学生は全国と同等である。

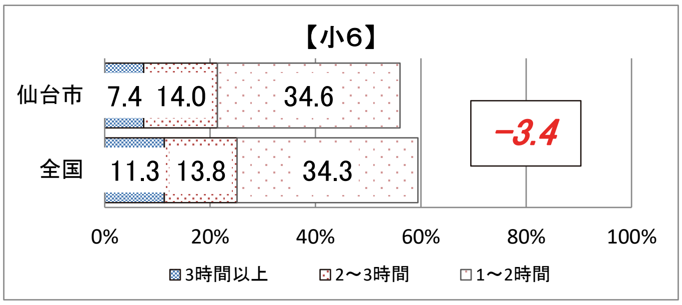
１日当たりの読書量について，小中学生ともに全国と同等であるが，「読書が好き」と回答した割合は小中学生ともに7割前後となり，全国平均を若干上回っている。

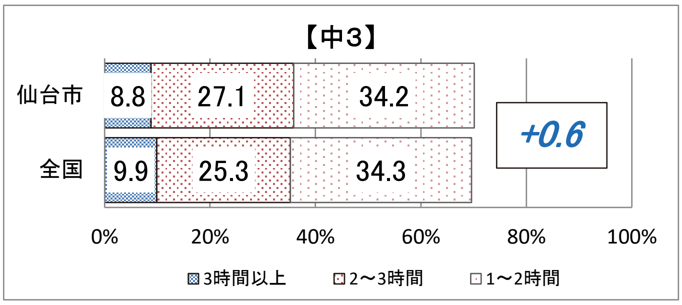
１９．家で自分で計画を立てて勉強している



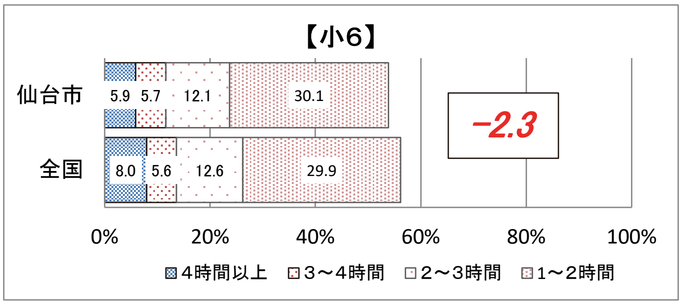


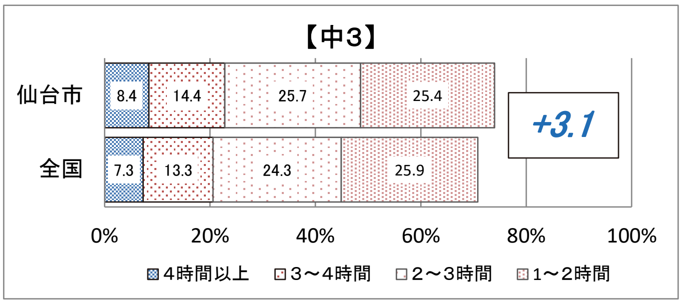
２１．学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強するか（１時間以上）



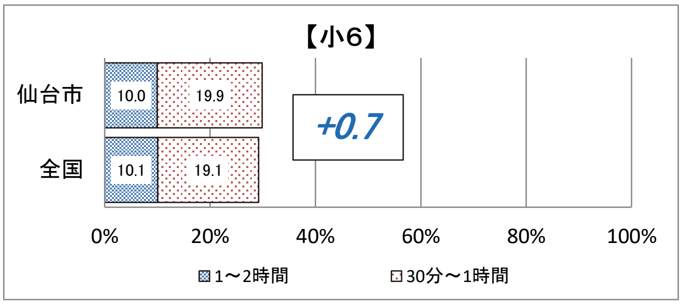


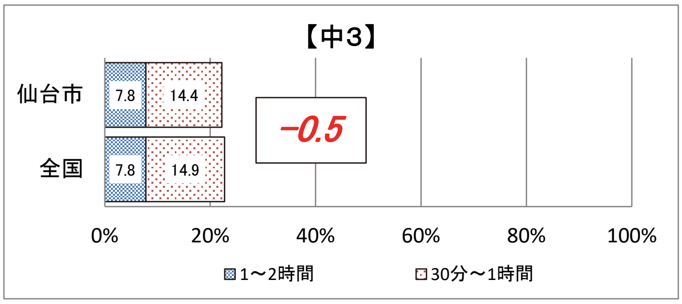
２２．土曜日や日曜日など学校が休みの日に，１日当たりどれくらいの時間，勉強するか（１時間以上）



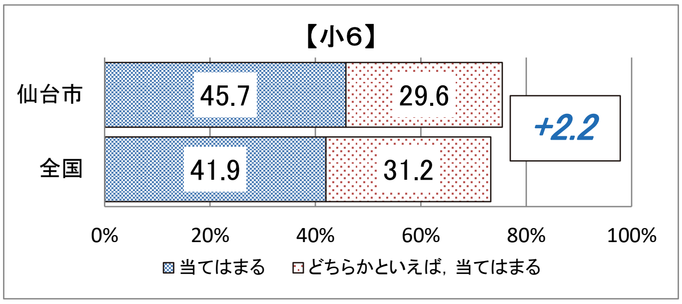


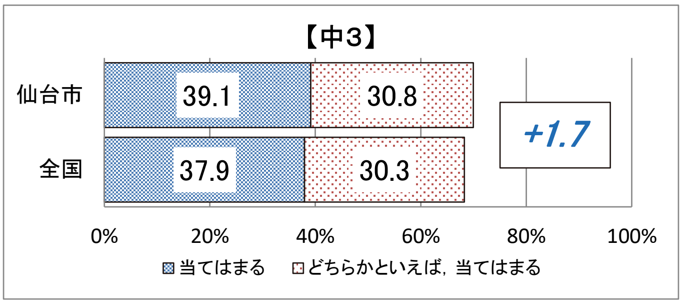
２３．学校の授業時間以外に，普段，１日当たりどれくらいの時間，読書をしますか。





２４．読書は好きですか。





□今後に向けて

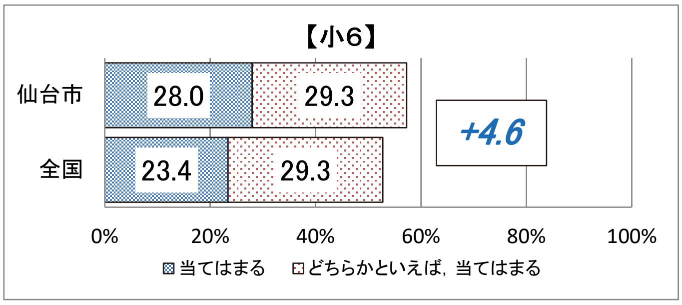
　児童生徒が自ら学ぶ意欲を持たせることが大切です。児童生徒にとって「分かる授業づくり」を進めるとともに，「この学習内容が将来何に役立つのか」といった「学ぶ意味・意義」を意識しながら授業を進めることで，児童生徒の学ぶ意欲や目的意識を高める指導の工夫を進めてほしいと思います。

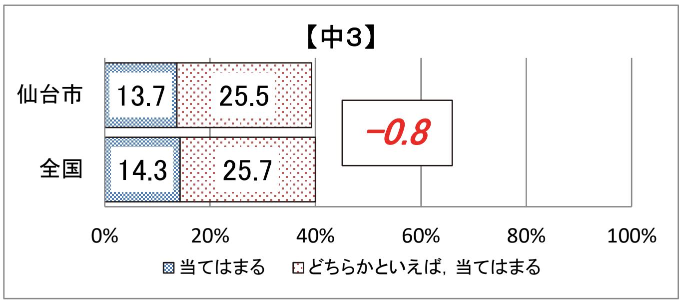
　また，本市の児童生徒は「読書が好き」と思っている一方で，３０分以上２時間以内の読書時間の児童生徒の割合は２０％程でした。家庭学習の習慣とともに，読書の習慣も身に付けていけるよう啓発に努めていただきたいと思います。

【分析結果４】

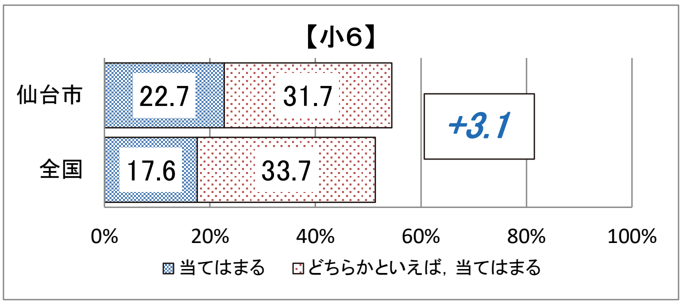
「地域との関わり」に関する項目において，「地域の行事に参加している」や「地域や社会をよくするために考えている」と回答した割合は，どちらも昨年度より下回っているものの，全国との比較では，小中学生ともに同等以上となっている。

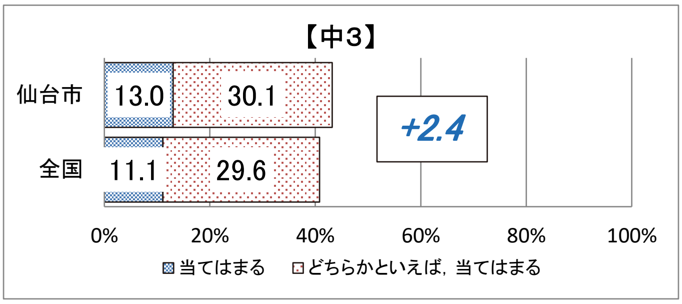
２９．今住んでいる地域の行事に参加している





３０．地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある





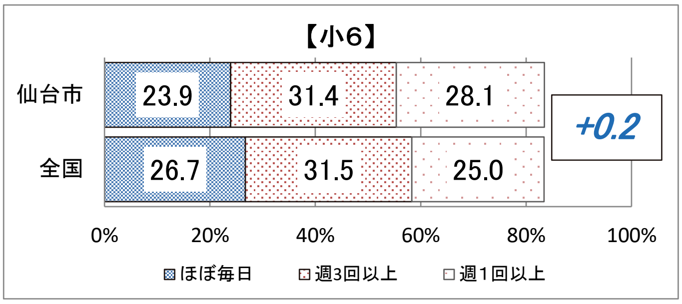
□今後に向けて

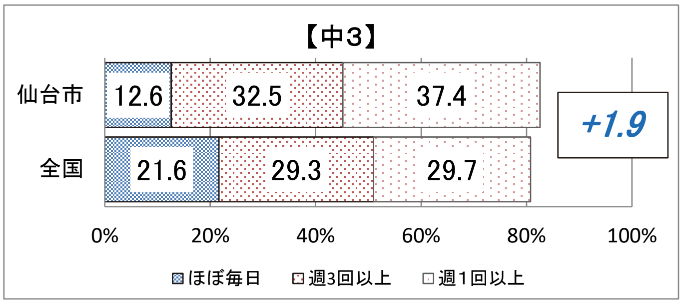
仙台市では，令和４年度中に，全市立学校・園でコミュニティ・スクールが導入されました。今後，家庭や地域との連携・協働により，教育活動の充実を図るとともに，コミュニティ・スクールを活用しながら地域総ぐるみで子どもを育てる環境づくりを進めていきます。児童生徒の「地域への関心」を，教育活動に生かす取組を継続してお願いいたします。

【分析結果５】

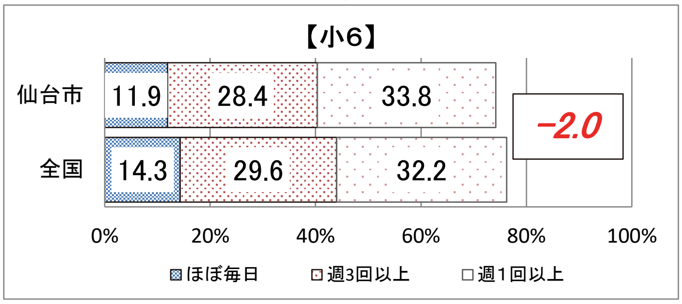
授業等での，ICT機器の使用頻度について，「ほぼ毎日」と答えた割合は，昨年度に比べ倍以上に増加している。また，調べる場面での利用機会は約7割以上となっているが，意見を交換する場面での利用機会は5割を下回っている。

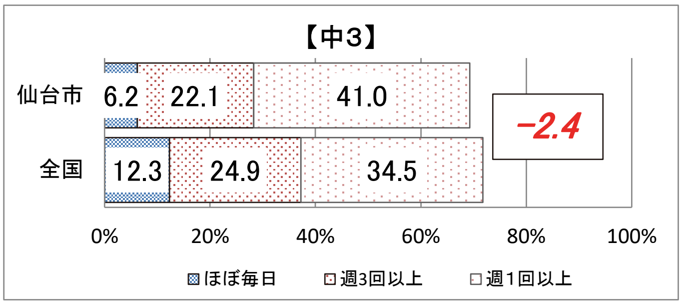
３２．５年生まで（中学１，２年生のとき）に受けた授業で，ＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器をどの程度使用したか



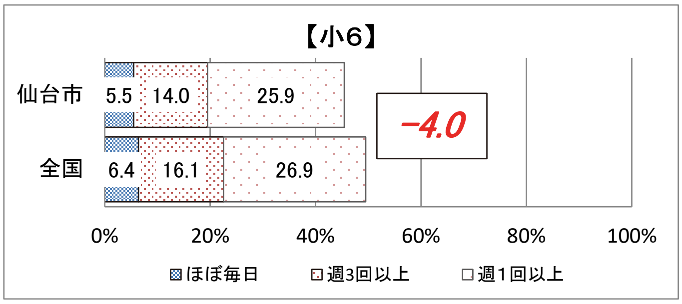


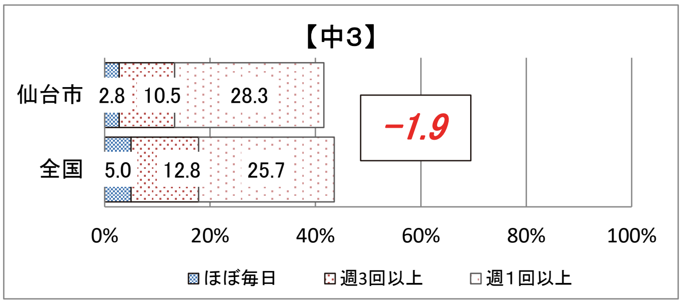
３３．学校で，授業中に自分で調べる場面で，ＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を，どの程度使っているか（インターネット検索など）





３４．学校で，学級の友達（生徒）と意見を交換する場面で，ＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を，どの程度使っているか





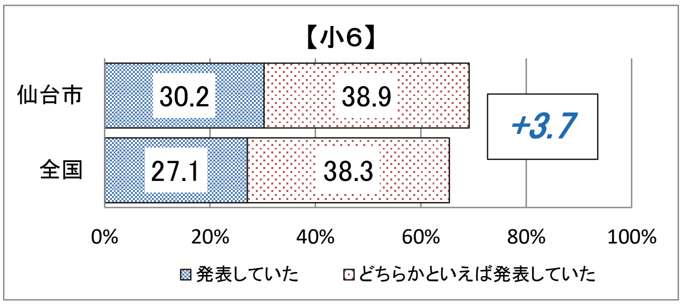
□今後に向けて

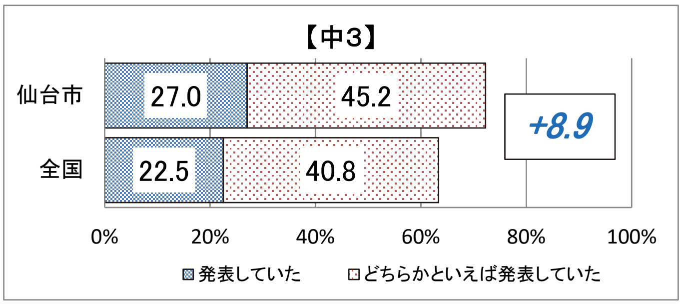
GIGA スクール構想により配備された ICT 環境を生かすことにより，「個別最適な学び」と「協働的な学び」を効率的に進めることが可能となります。多様な学びの実現と，児童生徒の情報活用能力を高め，自ら学習を調整しながら粘り強く取り組む態度を育むために，ICT の効果的な活用を進めていく必要があります。

【分析結果６】

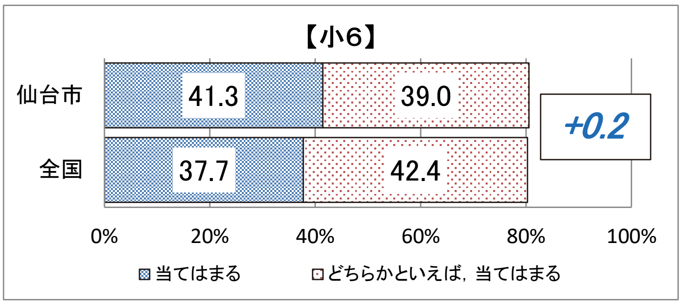
言語活動に関する質問では，すべての項目で全国平均より同等以上となっている。特に，「話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができている」に肯定的に回答した割合は，令和3年度より増え，8割を上回っている。授業での言語活動が，児童生徒の実感を伴って充実している様子が見られる。

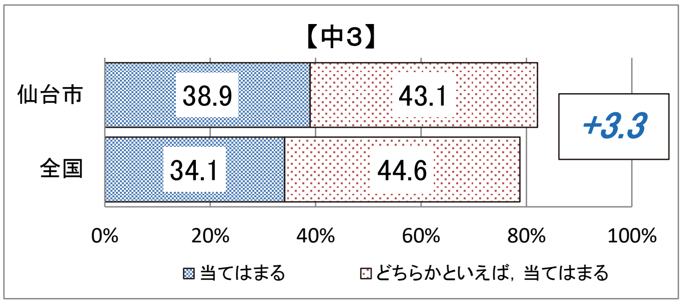
３８．５年生までに（中学１，２年生のときに）受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していた





４３．学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができている

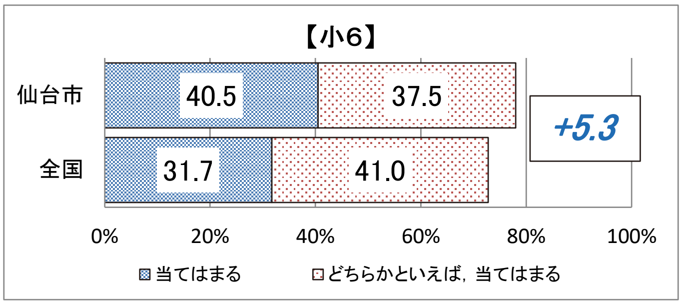


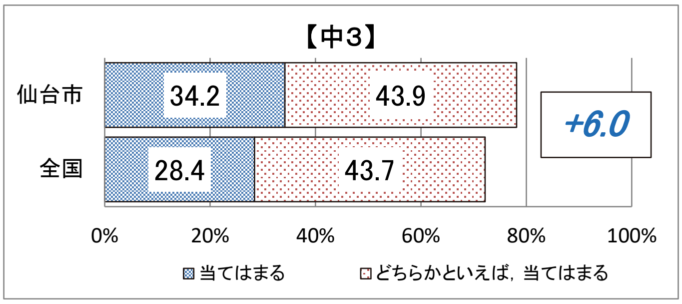


【分析結果７】

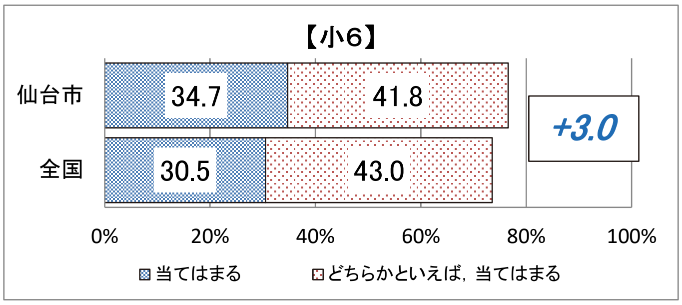
総合的な学習の時間，学級活動，道徳の時間等で，自分で立てた課題について調べて発表したり，互いの意見のよさを生かして解決方法を決めたり，学級やグループで話し合ったりする学習を行っていると回答した割合は，75%以上となっている。全国と比べても，同等以上となっている。

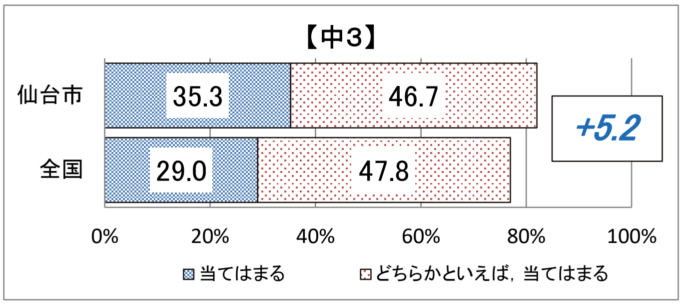
４５．総合的な学習の時間では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる



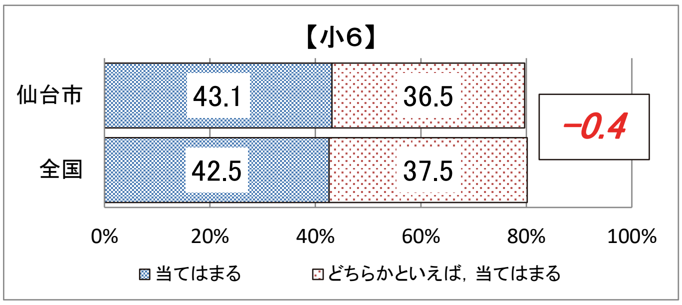


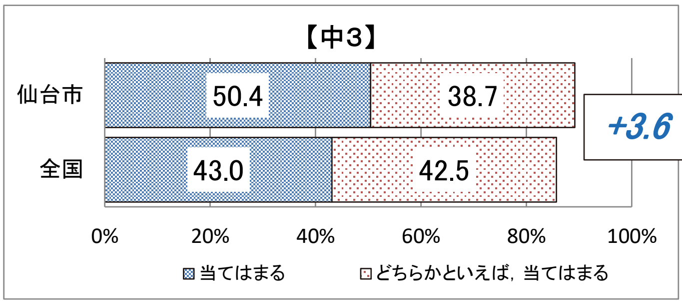
４６．あなたの学級では，学級生活をよりよくするために学級会（学級活動）で話し合い，互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている





４８．道徳の授業では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる





□今後に向けて（分析結果６，７より）

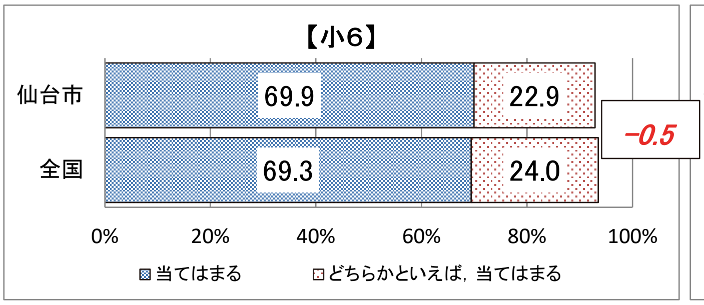
児童生徒が，学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し，これからの時代に求められる資質・能力を身に付け，能動的に学び続けることができるようにするためには，学習の質を一層高める授業改善の取組が大切です。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り，「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められています。

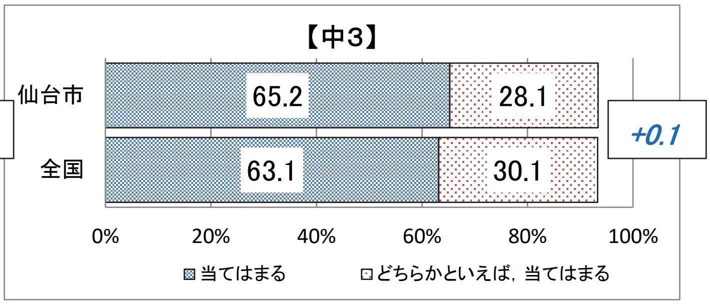
【分析結果８】

国語，算数・数学，理科の勉強では，「大切だと思う」「将来，役に立つと思う」と回答した児童生徒の割合は，全国と比べ同等以上となっている。特に国語では，小中学生ともに90%を上回っている。

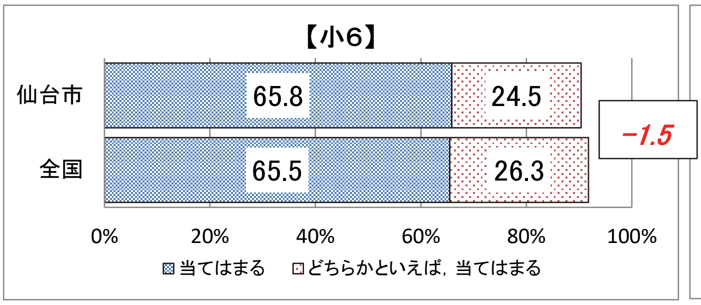
「普段、生活の中で活用できるか考える」という質問に肯定的に回答した割合は，算数・数学，理科ともに全国より上回っている。

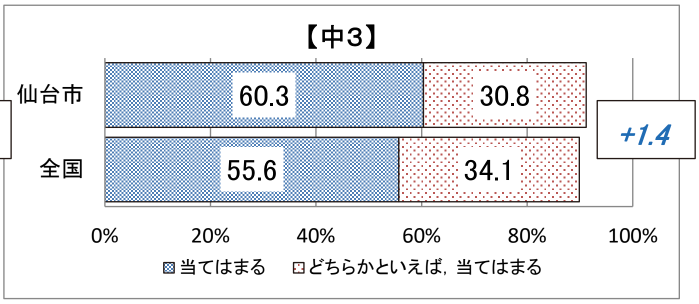
５０．国語の勉強は大切だと思う



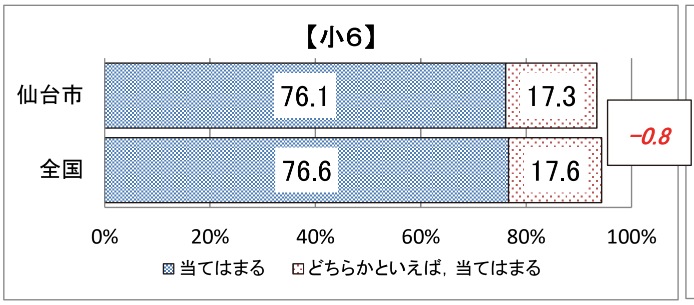


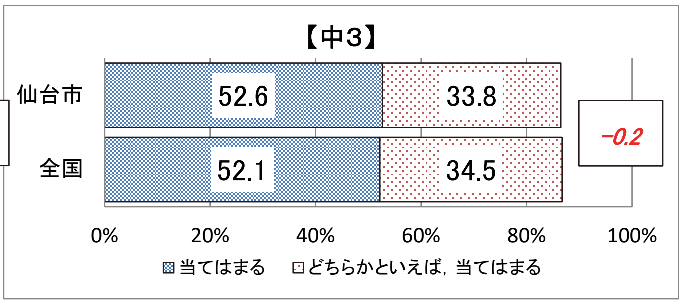
５２．国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思う



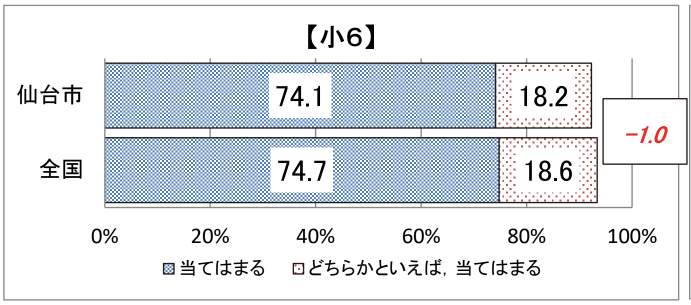


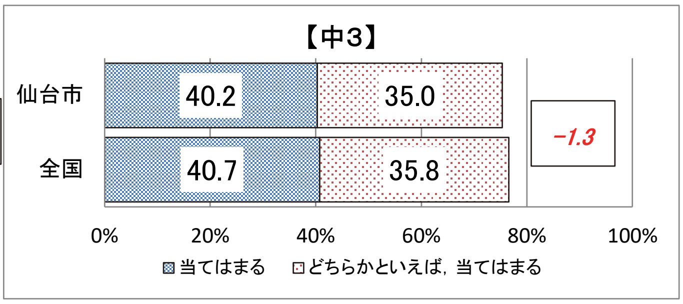
５４．算数・数学の勉強は大切だと思う



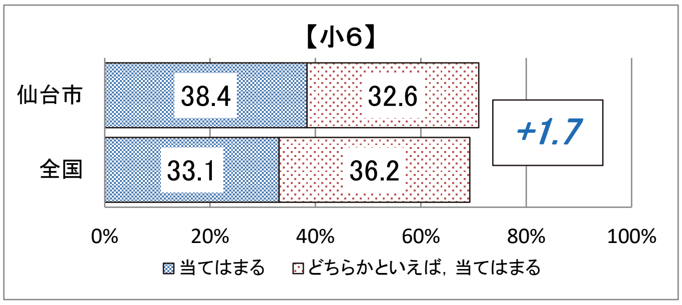


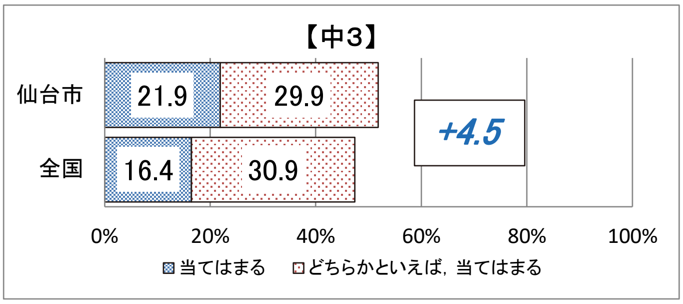
５６．算数・数学の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思う



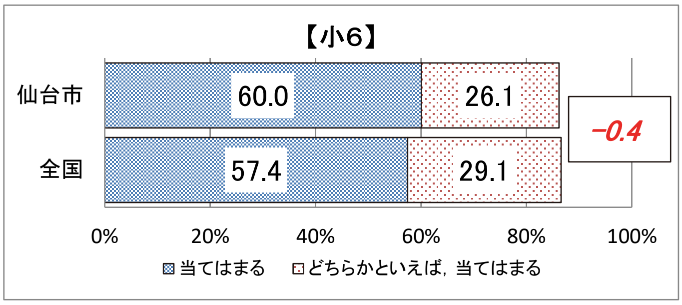


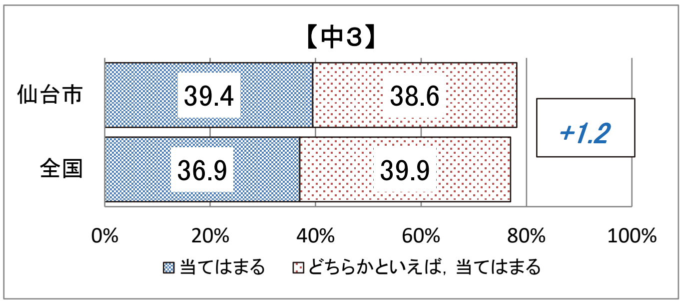
５７．算数・数学の授業で学習したことは，普段の生活の中で活用できないか考える



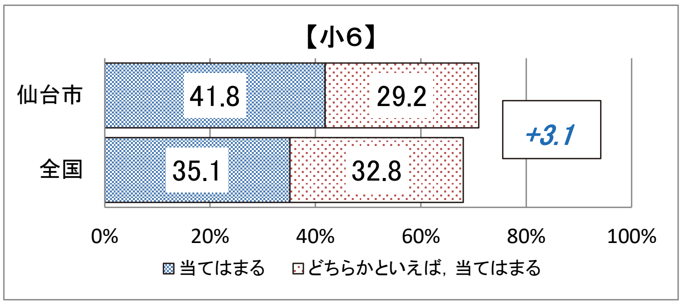


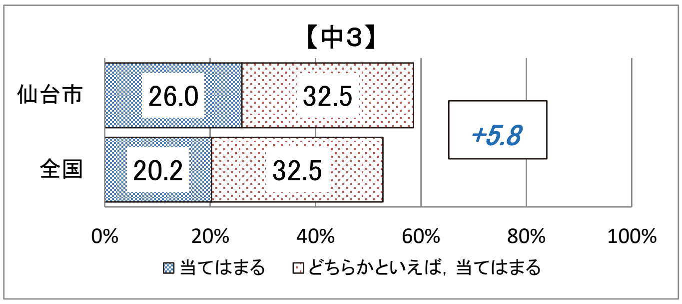
６２．理科の勉強は大切だと思う



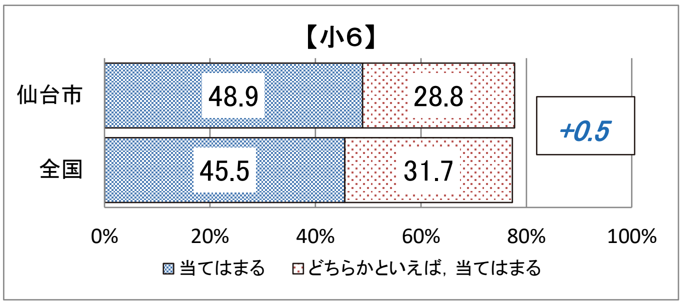


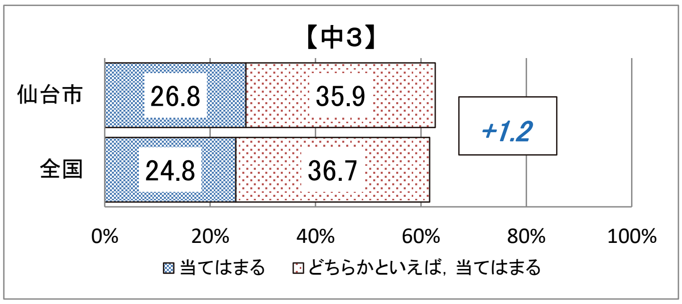
６４．理科の授業で学習したことを，普段の生活の中で活用できないか考える





６５．理科の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思う





□今後に向けて

「主体的な学習態度」は，身に付けた知識・技能を活用することで高まり，また，学習意欲の高まりによって，新たな課題解決への意欲につながります。見通しをもって学習し，その過程や達成状況を考慮して，学習の進め方を自ら調整したり，学んだことをその後の生活や，社会の中で生かそうとする意欲につながったりします。今後も「この学習内容が将来何に役立つのか」といった「学ぶ意味・意義」を意識しながら授業を進めることで，児童生徒の主体的な学習態度を育てていきたいと思います。